みいけ

発行所
三池炭鑛労働組合
大牟田市不知火町
電話3033番
炭鉱528 475番

編集発行人 平島敏治
三鉱労組印刷工場

三鉱労組機関紙

## 書記局便り

五月 十日 福岡地区大手、九共闘代表者会議
〃 十一日 山ノ上事件公判
〃 十三日 馬場井ゼキに関する会議
〃 十四日九本定期大会

# 經營の社會化に邁進

## 執行委員長に畠山氏再選

## 第五回 三鉱連定期大會

時代の脚光を浴びて今や注視の的となつて居る経営参加の問題を含む行動方針を主議題に第五回三鉱連定期大会は去る五日から一週間、東京上野の桜亭で開催、三池から菊川副組合長（十日以降は浦川氏が代理）始め竹下（本部）古賀（宮浦）前川（四山）谷端（三川）中川原（本所）小宮（製作）川畑（港務）の八氏が出席、議長団には永松豊（山野）高橋春吉（砂川）両氏を選出、地方情勢報告を確認の後第一号議案諸協定改訂闘争の件から審議に入つた。

労務で特に問題になつたのは労協十三条第二項（解雇により業務運営に重大な支障を生ずる者に限り会社は組合と協議する）に関する通牒第二（会社業務の運営に重大な支障を来す場合とは、本人の技能が余人を以ては代え難い場合及び大量に除名された場合を云う）の、〃大量〃は御都合次第で会社に有利に解釈されるおそれがあるから、斯る疑義を残すような項は削除すべしとする北海道の主張が容れられ執行部から会社に交渉の結果削除と決定した。

二日目、決算書（大森寮を含む）会計監査報告は質疑応答の上これを諒解、生協設立に関しては、先に中央でひらかれた設立専門委員会で得られた結論八項目に対し五月四日会社から回答がなされ、更に引続き交渉中である旨の経過報告を諒解、企闘白書は五三万四千字からなる尨大な内容、並に闘后の取扱いをどうするかにつき論議が交された結果、内容を修正若しくは挿入すべき点は山元から中央に連絡を取り、取扱いについては執行部に一任と決定、伺れ写真入りの本にして近く発行、二百円程度で広く組合員に頒つ方針である企闘白書は今后の組合運動に於ける座右の銘として是非購入して頂くよう望まれている

### 經營参加で採む

大会日程の半分を費した行動方針中の経営参加の問題は大会四日目から審議に入つた。劈頭砂川から山元で大衆討議にかけて居ないので内容の審議には入らない」また美唄からも「具体的方針が明示されぬ限り内容に入つても意義がない」旨発言があり、結局各山二名からなる議事進行小委員会を持つて意見を調整した結果、前回炭労大会三鉱連中央委員会にもかけられ、企闘白書にも明示されて居る問題である故内容の審議に入つた。然し大会の空気を考察して執行部から執行部の別室会議を要請その結論として「経営参加の問題は企闘にもまして重大なので闘争を展開するに当つては六山が足並揃える必要があり、伺れ具体的内容を成案化した上で九北夫々にオルグを派し、山元で十分な大衆討議を経た上中央に集約して交渉に移したい。従つて経営参加の問題は行動方針から削除したい」との新提案が小委員会に対してなされこれに基き小委員会として論議したが賛否両論にわかれ意見が纏らないまゝ大会五日目に持ち越され各山意見を持ち寄つて討議したがこゝでも容易に結論が出ないので各山の空気を勘案して執行部から「明日新たな方針で修正案を提出したい」旨提案、これを諒として六日目に臨んだ。

大会六日目、執行部から出された案は「経営参加」の項を「経営の社会化」に修正したもので論議の結果、内容の一部を修正の上行動方針に臨う事を決定、行動方針のその他の項も、一部修正の上承認決定を見て、こゝに丸三日を要した行動方針もようやく本決まりとなつた。

### その他

芦別では現在製材工場、鋳物工場を閉鎖して配転その他を組合の諒解なしに実施せんとする動向があるので徹底的なメスを加えて貰いたい＝具体的には執行部に一任

△規約改正の件＝現在の機構に即応するよう①副委員長制を廃止し事務局長が総務部長を兼務する ②新たに法対部長を置く 以上の改正案が提案され諒解決定。

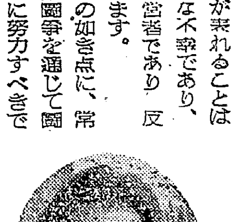
△予算の件＝各山一名宛から成る小委員会で審議の結果原案十六円を十四円五十銭に押さえるとの結論を大会に提案、決定。

△動議＝総評代表として石黒氏が世界平和会議に出席する事に決定したので各山で資金カンパして貰いたい旨畠山委員長から提案があり、結論として「各山元で努力する。額については月末までに中央に連絡する」という事に決定、役員改選の結果左の通り当選決定した。

| | | |
|---|---|---|
| 執行委員長 | 畠山義之助 | （砂川） |
| 事務局長 | 灰原 茂雄 | （三池） |
| 労働部長 | 徳永 博信 | （田川） |
| 教宣部長 | 木下 昭治 | （芦別） |
| 法対部長 | 若松不二男 | （美唄） |
| 調査部長 | 西中 正久 | （山野） |
| 監査 | 野口 清光 | （田川） |
| 同 | 佐藤 登 | （美唄） |

## 炭労執行委員解任に当りて

久保田武己



炭労執行委員解任に当り一言御挨拶を申上げます。

一九五二年四月破壊活動防止法案反対、阻止闘争をめぐり下部組合員の不満は中央執行部不信任となり、新しく構成された執行部の一員として就任してより二年二ケ月の期間を回顧するに、先ず六十三日の長期一斉ストライキ、衆参両院の選挙闘争、スト規制法反対闘争、企業整備反対闘争、今次賃金闘争と闘いの連続でありました。

この幾多の闘争を推し進めてゆく中で私の脳裏を常に翔廻つていたものは、又忘れ得なかつたものは三池の同志諸君の闘争の姿でありました。

闘争の最終段階になればなる程、山の組合員は今何を考え 何を望んでいるかを考えました 妥協の連続であつた炭労の過去の闘争を反省するとき、ボツ／＼たる闘争意欲が腹底から燃えあがつてきました。

これでよいのかという反省批判は、これでもかという闘いに転化されてきました。

戦術面にも、交渉面にも、過去の闘争を十分批判し徹底的に検討しました。

今吾々に必要な事は総ての過去の闘争を十分批判し検討することであり、その批判の中より次の闘いへの準備をすることであります。

次には組合の民主化である 吾々の組織の内部には民主化されなければならない要素が多分にあります。組合は秘密主義であつてはならない。又一方的見解主張のみが下部組合員に流されてはならない。組合運動に感情がはさまれてはならない、そして闘う組織に総ての努力が結集されてゆかなければならない。

その基盤の上にたつて現実認識をすべきでありましよう現実認識の相違は堂々と然も徹底的に論議し意志の統一がなさなければならない。闘いの出自に於ての現実認識の相違は必ず最終段階に於て対立となる。このことは闘争推進の大きな要素であり、組合員の不幸となる恐れがあり、組合員の闘争に対する自信を喪失し、組織に対する信頼性の欠除となつて表れてくる。このような現実が表れることは組合員の大きな不幸であり、嬉ぶゝのは経営者であり 反動勢力であります。

吾々は以上の如き点に、常に注意し日常闘争を通じて闘う組織の確立に努力すべきであります。

私は炭労執行委員として現在迄述べた点等を守り闘いを続けてまいりました。

然し微力であり完全なものでなかつたことも十分認識しており反省致しております。

唯組織人としての執行委員として己の全力を尽して闘つたことだけは報告でき得ると確信致しております。

最后に在職中私に寄せられました組合員多数の激励厚意に対し深く感謝し解任の挨拶と致します。

## 新緑の蔭

五月の陽に ねつとり汗ばんで
生命のいぶきあふらし
照り映える青葉 若葉
取除かれた奉安殿跡に
咲ききそう黄ばら 紅ばら
若葉萠ゆ百花競ふ 五月
あゝ五月 この新緑のなかにあつてさえ
ふつと身内をよこぎる 不安が
新緑の蔭 眠氣をさそふ
ぶろんこ のリズム しいそうのきしみ
子供だけがもつ 平和
あゝここだけは
不安な ものおとをたてたくはない

# 九州炭労、西鑛連大会對策を決定

## 第17回中央委員会

第十七回中央委員会は十日午前九時から労働会館でひらかれ、九州炭労大会対策その他を次のように審議決定した。

### 九州炭労大會對策

執行部から

①役員の件＝三池から一名、現川副組合長を推せんする。ポストは副委員長ということで臨む

②予算の件＝現在九州炭労の会費は九円三十銭、北海道炭労は二十九円、三倍強の会費を徴収して活発に動いている。こういう実態もあるので若干の会費値上げはやむを得ない。具体的に検討を加え 冗費の節約、役員、事務員の人員減という対策を考えて十一円（一円八十銭の値上げ）程度に食い止めたい。現在の九本の調査部長制度は廃止しても支障はないと考えるので、福岡の役員一名（調査副部長）、佐賀の事務員一名、福岡の事務員二名、計四名（役員一名を含む）を減らして経費の節減を図るという前提に立つている。少くとも十一円でおさえ、決算報告、予算の説明を聞き、なお削減出来る点があれば削減するという方針で臨む。

行動方針の件

①中小炭鉱に対する明確なる方針というものが欠けている。

②闘争力の点について少し疑問の点がある。

③本年の敵に対して企業を守り闘いに云々、の本年の敵が明確に判らない。

④企業の合同にも協力するという意味が明確でない。

⑤官、労、資懇談云々という点について意見を述べたい。

⑥会費負担率の軽減を図るという意味について合点が行かない。

以上の点を中心にして追及したい。この点代議員に一任願いたいという事で諒解決定された。

### 西鉱連大会対策

西鉱連の組織をどうするか、まだ結論が出ていないが見通しとしては西鉱連廃止は不可能であろうとの観点から執行部提案として

①役員の件…遠藤氏（三川労働部員）を推せんする。

②予算の件…現行通りで進みたい

③行動方針の件…（未完成であるので次回の委員会に提案して審議したい）

以上代議員に一任する事を提案通り決定した。

## 經營の社會化

われわれは、昨年の企業整備反対闘争における苛烈な体験から「この闘争を契機に今後われわれは事業計画または之に関運する経営上の諸問題にも労働組合としての発言権を強化し、再び不当な一方的な首切り合理化が再び行われないように、活発な日常闘争の展開を各山元で決意し実践すべきである」ことを確認した。

このことは、炭労の統一闘争による石炭産業の社会化を指標とするものであるが、その前提として企業内でもいわゆる経営の社会を徹定する、と云うことであり、われわれは先づ、経営方針変革闘争を具体化しなければならない。

しかしながら、反動政府や日経連は、自からの利益を守るため経済危機に籍口し、労資協調を最近しきりに宣伝しているが此れに対決するわれわれの闘い進むべき具体的方針は、大衆の闘争力を基礎とし、次の手続を経て打立てる。

①各山の実態を充分調査し、具体案（理念・要綱等）を早急に作成する。

②具体案は大衆討議にかけ正式機関にて審議し、闘后の闘争体制を組む。

× × × ×

=馬場井ゼキ問題=

## 初の小作人大會

### 闘争決意と態勢固む

四月十四日県が出した斡旋案をめぐつて紛争を続けて来た補償金問題について小作人側としては五月十三日県と持たれた会合において最終的に福岡県水利委員会が提示した基準案は

A、将来に対する分

①三井鉱山（株）は小作地について水交換補償額（中止田については二、五俵とする。以下同じ）の三割を増額するものとする。

②小作地については補償額（鉱害補償分及び増額された水交換分を含む）を地主対小作六の比率で配分するものとする

但し第二次農地改革（昭和二十一年十一月二十三日）以后小作地となつたものは、地主八対小作五の比率とする。

③自作地については水交換補償額の一、五割を増額するものとする。

④水交換補償の増額分（小作地自作地共）の内三分の一を一時打切金として五ケ年分を支払い、三分の二は年々加算するものとする。

⑤補償金の受領配分は、地主、自作、小作三者によつて組織された地元委員会によつて行うものとする。

⑥三井に対する水交換に伴う補償契約は五年毎に同委員会が行うものとする。

B、二十八年度以前の分

①三井は二十八年度以前の分についての紛争処理費を含めて五百万円を交出するものとする。

②五百万円の配分は関係者が自主的にこれを行うものとする

を満足すべきものではないが 委員会の熱意と、努力に対して平和的解決のため、小作人側としては同意するにいたつたのであるが、地主側としては、封建社会制度の中にあつた地主対小作の関係の夢を忘れ得ず頑として斡旋案に対して応じないため遂に決裂の状態に落入つたのである。

此の地主側の態度に対して今後の方針を決定するため六月十四日一時はや馬農協に於いて小作人大会が開催され大地評より小宮会長三鉱労組より山下書記次長、社会党より山本政策審議委員長等出席して今後の闘争方針が、かつて見ない空気の中で新な決意と今后の闘争方針が満場拍手の中で決定され労農提携の力強さが、発揮せられたのである。

## 健康優良赤チャン廿五名きまる

### 健保主催赤ン坊大會

三池健康保険組合主催になる赤ン坊大会が去る七日お昼から本社体育館で行われた。参加した赤チャンは何れも先に診療所、分院別保育指導の乳児検診にパスした昨年十二月一日以降今年一月廿一日までに生れた健康優良児二一八名中一九九名で、審査の結果一等五名二等十名、三等十名の入賞者が決められた。一等入賞者左の通り

| | |
|---|---|
| 三川 | 馬場 直子 |
| 四山 | 北園 敦子 |
| 本所 | 野嶋美代子 |
| 〃 | 角 由紀夫 |
| 四山 | 日高 和美 |

## 社會主義協會 講演會

### 向坂教授らを講師に

社会主義協会ではこんど九州支部を創立する記念講演会を決定し、組合に通知をもたらせて来た。会場は労働会館で五月二十一日午後五時四十分からの予定である。

講師は同協会の同人である向坂逸郎、高橋正雄両九大教授で講演内容は向坂先生が「社会主義政党と労働組合」高橋先生が「日本資本主義の現段階について」であるがその内容はともに両先生の最も精通されたものである。なお聴講料は事務所建設カンパの意味で三十円程度になる。

=ソ連映画=

## 若き親衛隊

一九四二年七月、ウクライナの炭坑の町クラスノドンに、ヒットラーのファシスト軍隊が近ずいた。地区委員会からは全員退去の命令が出た。炭坑は涙をのんで自ら爆破された。

プローツエンコを先頭とする共産党の地区委員会は、のこり少い武器を集中してパルチザン活動の準備をはじめた。ファシスト占領軍の行動は、国民の間に大きなにくしみをわきたたせていた。このにくしみを適確に指導し、国民を充分武装させることが、プローツエンコたちの基本的任務だつた。

トーリャは、手術后病床にあるウオロージャと一緒にのこつて闘う決心をした。

ドネツの渡河点が爆破されてひき返したオレーグやウーリャは、近視のワーニャ・ゼムヌーホフやヒゲのンヨーラたちと一緒になつた。彼等は負傷のため包囲を脱出したトウルケーニツチを救つてクラスノドンに帰つた。

勇敢なセリヨージヤはパルチザン闘争に参加し 九死に一生をえて脱出した。彼はワーリヤとともに、ドイツ軍司令部に燃料の入つたピンを投げつけて、まず手柄をたてた。

憤怒に燃える彼等はオーレグを中心に集つた。リユーバもプローツエンコやアンドレーの指示に従いオーレグと連絡をとつた。

ドイツ軍司令部の地下室には労働者が逮捕されていた。裏切者フオミンの手引きである。彼等は機銃掃射に倒れ、また生きながら穴にうめられた。

オーレグの家には、リユーバ、セリヨージヤ、ウーリヤのほかワーニヤ・ゼムヌーホフとワーニヤ・トウルケーニツチの六人のコムソモール（青年共産党盟員）が集つた。オレーグは、敵と闘い、破壊された町や村のために、流されたソヴエト国民の血のために、容赦なく復讐する、と厳粛に誓う。

——地下組織「若き親衛隊」が誕生したのである。親衛隊の最初のビラが、クラスノドンにはりめぐらされ、残つた住民たちに希望とよろこびを与えた。

若き親衛隊は地方委員会にみとめられた。今や党の連絡と指導のもとに、はつきり存在しているのだ。勇気百倍した彼等は裏切者のフオミンを倒し、若き親衛隊の名で絞首刑を宣言、市民の見せしめにし、さらに捕虜収容所を襲つて大勢の同胞を救い出した。

十月革命二十五周年記念日前夜のクラスノドン、セリヨージヤとワーリヤはドイツ軍司令部の建物の上に赤旗をうち立てた。翌十一月七日、住民たちは敵の司令部にひるがえる祖国の旗に歓呼の叫びをあげた。

一歩一歩、死の危険が待ちかまえている。この困難な闘いの中でセリヨージヤとワーリヤは深い愛情に結ばれた。

スターリングラードの戦局は逆転した。うちのめされたドイツ部隊は動揺しつつ、クラスノドンを経て西方に退却していた。そのころ、ワーニャ・ゼムヌーホフとスタホヴィチほか一名の同志が逮捕された。ドイツ軍は血まなこになつて若き親衛隊を追求している。

リユーバも逮捕された。スタホヴイチの自白で、牢獄には次々と親衛隊が逮捕されて来た。リユーバは不敵に歌いわめいた。拷問にさいなまれたウーリヤもプーシキンの詩を高唱して屈することを知らなかつた。彼等の歌声——それは若き青年隊の歌、は敵の制止を圧倒した。脅迫にも拷問にも屈しない彼等に処刑の宣言が下つた。

爆破された炭坑の坑口の前に親衛隊の一団がひき出された。青共員は前へ出ろ、という裏切者の手先ソリコフスキーの声につれて、オレーグが出る。二つの眼が同志にきらきらと輝やいている。一人よろめいて進むが、オレーグたちの鋭い眼に射すくめられて、隊列に加われない。

夜空にとどろく友軍機の爆音に胸をふるわせながら、オレーグは敵に向つて叫んだ。

「われわれはお前たちを恐れてはいない。……ただ、お前たちを生み出したものこそ恐ろしいのだ。……僕がただ残念に思うのは、正しい生き方のために、われらの同志、あらゆる人々とともに、たたかいつづけることができないということだ。このたたかいをつづけるあらゆる人々に、僕の最後の挨拶を送ろう……」

そしてあらゆるインターナショナルの歌唱の中に隊員たちは倒れていつたのである。

**前進**

## 九炭労大會に望む

九炭労行動方針案は「中央行動方針は組合活動の全分野にわたる行動の指針であつて われ／＼はこの上に何ものも加える必要を感じない。こゝに九州地方本部行動方針という蛇足をかき加える所以は、過去の実績を改めてもちだすまでもなくその地方本部としての固有の行動領域が中小炭鉱の問題であたし、また将来もそうであるということである」として、深刻な石炭危機に恐われその集中的なしわよせを受けるものが中小炭鉱であり、この新しい情勢に処して闘争をどのように組むか中小の立場からかいた行動方針として提案せんとしている。

（二）

その内容について検討してみよう。「大手の闘争は直接に独占資本と対決する闘いである。しかし中小の闘争はそう簡単に割り切れないものを残している」とあるが、これは何を意味しているか。独占というものに対する解釈をどう解釈しているか理解に苦しむ。

独占企業を許すことは物資の買溜め物価の吊上げが可能となることである。独占企業の再建を図るため金融資本と結託して金融引締めを行うことによつて中小企業の崩壊を招き、独占企業擁護の犠牲となつているのが中小企業であるという現実を知らなければならない。

〃簡単に割り切れないものを残している〃とあるが、これは企業のおいた親分子分の情的繋り搾取機構の重復を指すものと解され、これと企業の崩壊の根本的理由とは明かに分離さるべきである。

企業の眼前の事象にとらわれると企業の枠内闘争を中心とした闘争方針に転化する恐れがあり、具体的方針の相違ではなく、理念の相違があると解する。

（三）

具体策として「われ／＼は経営参加を求める経理の公開を最底として生産計画、営業人事等に至るまで出来る限りの参加を行うまた必要とあれば企業の合同にも協力するであろう。企業の再建計画は共同に立案されなければならない。先ず企業経営の民主化より経済の民主化コースは始まる」とある。

こゝで忘れてならないことはわれわれは企業の社会化、私有財産の社会化であり、労働階級が当面経営に参加する方針は経営の監視を理念としてこそ許容さるべきである。

経営者が経営の参加を許容する理由は搾取する手段としてとるものであり利潤がなくなつた現在労働条件を切下げんとする方法として経営参加を認め企業を守らんとしていることを知らなければならない。

（四）

中央炭労大会は「中小炭鉱の組合員と共に苦しみその気持を理解する温い同情と親切さが大切であり、炭労組織は中小を見殺しにはしないという安心と信頼こそが中小炭鉱労組全体の闘争力を強め 統一行動を直ちに起させるための唯一の道である」と決めた。

われ／＼は中小の実態は十分認識している。闘いの方法としては直接間接とをとはず大手のエゴを捨て組織力を発揮し中小炭鉱の同志を援助しなければならない。

すべての闘いの目標を「生活を守る闘い」に集約し、両者相呼応して闘うところに統一闘争の効果が期待できる。

炭都まつり
景品付大賣出し　5月15日〜22日
お買上げ高500円毎に景品券進呈
（チケツトにも進呈致します）
菊池雜貨店
大牟田市三川町五丁目　電話6159番

三ツ星印の製品を御存じでしょうか
電球　がよく切れてお困りのお方は是非一度お試し下さい。普通電球以外の材料を使用してありますから永く持ちます。一〇—六〇迄四〇円です。
三ツ星アイロン　普通のアイロンよりも早く熱します。普通品が熱する間に三ツ星アイロンはワイシャツ一枚位は仕上げられますから節電になります。七〇〇円です。
三ツ星スタンド　木製で細製のセード付で二七〇円の特価で差上げます。
三ツ星製品發賣元　山田屋本店
大牟田市銀町電二四三八
只今四十五周年の賣出中であります。六月十日迄サービス券差上げます。六月十三日午前八時から十一時迄弊店にて抽籤して賞品差上げます。

三鑛労組四山支部、三川支部指定店
港發電所指定店
自轉車及び修理の御用命は
チケツトを御利用下さい
有限会社　吉澤自轉車兄弟商會
本店　荒尾市大島上区　電252
支店　大牟田市三川町一丁目
営業所　大牟田市三川町二丁目　電6354

宮浦（大浦）三池製作所
本所人事（電氣・輸送・建設課）　指定店
買物は便利なチケツトて
大牟田専門 ㊕ 店会加盟店
本田自轉車商會
市内東新町二丁目（三作前）　電話3925番